

附属書（参考）

新旧規格改訂内容対比表

箇条番号	旧規格	新規格	改訂理由
1.適用範囲	スニーカー形状をもつプロテクティブスニーカー	スニーカー形状ではないプロテクティブブーツ（プロブーツ）を追加	JIS 規格で包括できないつま先部を防護する構造をもつ作業靴については、原則プロスニーカー規格で包括するため
2.引用規格	甲被材料の種類ごとに試験方法の JIS 規格を引用したため、12 規格あり	引用した規格は 7 規格	甲被の試験方法を統一したので、引用する JIS 試験方法規格が減少したため
3.用語の定義	プロスニーカー、革、人工皮革、ビニルレザークロス、合成皮革、ゴム、発泡ポリウレタン、EVA の 8 用語あり	ビニルレザークロスを削除し、プロブーツ、編物、プラスチック、合成皮革を追加したため、11 用語となった	本文中の新規用語分を追加したため
4.種類	作業区分による種類と甲被による種類及び付加的性能による 3 区分の種類があり	旧規格の 3 区分の種類に対して靴のタイプによる種類を追加、プロスニーカーとプロブーツを区分した	プロブーツを追加したため
	作業区分による種類は、A 種、B 種の 2 区分	変更なし	—
	甲被による種類は、革製、人工皮革製、ビニルレザークロス製の 3 種類	甲被による種類は編物製、プラスチック製、ゴム製を追加し、ビニルレザークロス製を合成皮革製に言い換え、6 種類とした 複数の材料の組合せの場合の種類区分も明記	甲被による種類として現在市場で作業靴として使用されるものをほぼ網羅するため追加した ※布製は今後検討
	付加的性能による種類は、かかと部の衝撃エネルギー吸収性、耐滑性、耐踏抜き性、静電気帯電防止性の 4 要件	付加的性能による種類としてブーツ用に漏れ防止性追加し 5 要件とした	プロブーツの漏れ防止性は必要となるため
5.性能	耐衝撃性及び耐圧迫性、表底のはく離抵抗、かかと部の衝撃エネルギー吸収性、耐滑性、耐踏抜き性、静電気帯電防止性の 7 性能	旧規格の 7 性能に漏れ防止性を加えた 8 性能とした	プロブーツを追加したため
6.構造	プロスニーカーの基本構造を明記	記述にプロブーツを加えたため、甲被にゴム、編物、プラスチック製の厚さ規定を追加	プロブーツを追加したため
7.サイズ	JIS S 5037 を規定	変更なし	—
8.材料	甲被と表底の材料性能を記述	甲被は試験方法を統一したので、規格値を一本化 表底はプラスチックを追加規定	甲被の試験方法を統一したため
9.試験方法	甲被、表底の試験方法を記述	甲被は統一した試験方法を新規に明記した	甲被の試験方法を統一したため
10.製品の呼び方	プロスニーカーについての例示	原則は変更なし 新規のプロブーツを例示に加えた	プロブーツを追加したため
11.表示	製品の表示と包装の表示について記述	ベロ裏又は腰裏の型式認定合格標章を追加した他は原則変更なし	ベロ裏又は腰裏のピクト表示を追加記述したため
12.取扱説明書	PL 問題を含めた対応のため、14 項目の記述を規定	原則は変更なし 「速やかに交換すること」を「速やかに使用を中止すること」に修正	—
附属書 JA	なし	性能項目が多い場合の試験試料の数を明記	試験機関に試験を依頼する場合の試料数を明確にするため
附属書 JB	なし	規定にない素材を甲被の一部として使用する場合の面積比率の規定を明記	規定にない材料を甲被として使用する場合のルールを明確にするため